

見どころ案内

シャガ (アヤメ科)
木陰の湿ったところに群生し、草丈は高く、白っぽい紫のアヤメに似た花を付けます。

モモ (バラ科)
中国原産の落葉低木です。白色八重花の“関白”が満開です。

ヒマラヤユキノシタ (ユキノシタ科)
団扇やしよもじの様な葉の間から長い花茎を伸ばして、その先に淡いピンクの花がボール状につけています。

春の山野草
アメリカ原産のキバナカタクリやヨーロッパ原産のプリムローズ、朝鮮～中国原産のイワヤツデなど、世界各地の春の山野草がロックガーデンのあちらこちらに咲いています。

ススキノキ (ススキノキ科)
当園では1992年以来25年ぶりにご覧いただけます。前回の開花株は枯死したため、この開花株は2014年10月の導入株。黒色の花茎が立ち上がり、無数のめしべとおしべの入った花をつけています。

ゾウコンニヤク (サトイモ科)
本園での開花は6年連続で、長径50cm、重さ24kgで国内最大級の株です。花の寿命は3日ほどと思われ、異様な外観の花を楽しむことができます。

ゼラニウム展
当園のゼラニウムコレクションを一同にご覧いただけます。華やかな園芸品種のみならず、国内でも貴重な「変わり葉ゼラニウム」は必見です！お見逃しなく！！
[展示温室にて～4/19]

大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

クリスマスローズ(キンポウゲ科)
一重～八重まで様々な花色の園芸品種が一面を埋め尽くしております。野生種はロックガーデンにてニゲルを始め、リビドウス コルシクス、アトルペンスがご覧いただけます。

サクラ (バラ科)
スロープから芝生広場にかけてのサクラ植栽区では、乙女東彼岸、ソメイヨシノ、サトウソメイが満開。その後もエバヤマザクラや八重桜などが次々と咲き始め、ゴールデンウィークまで桜を楽しむことができます。黄色の花を付ける別名「ハルコガネバナ」のサンシュ、紫花のゲンカイツツジ、アンズ、ボケの花が同時に見られます。

